

SIDZEA
ISSN 0912-3016

滋賀医科大学雑誌

JOURNAL OF
SHIGA UNIVERSITY OF
MEDICAL SCIENCE

Vol 8. 1993

滋 賀 医 大 誌
J. Shiga Univ. Med. Sci.

滋賀医科大学雑誌投稿規程

(内 容)

第1 本紙には、和文又は欧文の原著、総説、症例報告、CPC等を掲載する。

(投稿資格)

第2 投稿者は、滋賀医科大学に所属する研究者、又は編集委員会が認めたものとする。

(論文の受付)

第3 論文原稿は、編集委員会（滋賀医科大学附属図書館内）あて3部（オリジナル1部、コピー2部）提出する。編集委員長は受付年月日を記した原稿受領書を投稿者に交付する。

(論文の受理)

第4 原稿は、別に定める「滋賀医科大学雑誌投稿手引」に従い、内容、体裁が整ったものでなけ

ればならない。投稿原稿の受理は、編集委員会で決定し、投稿者に通知する。

(校 正)

第5 原稿の校正は、著者の責任において行う。内容及び組み版面積に影響を与える改変は許されない。

(掲載料)

第6 論文の掲載料と別刷り代は、全額著者の負担とする。

(依頼原稿)

第7 編集委員会が特に必要と認めたときは、本学内外に論文の寄稿を依頼し、本誌に掲載することができる。この場合、掲載料は徴収しない。

滋賀医科大学雑誌投稿手引

(目 的)

第1 この手引は、「滋賀医科大学雑誌投稿規程」の定めるところにより、論文原稿の取扱いについて必要な事項を定めるものである。

(論 文)

第2 論文は、原則として日本語、英語、ドイツ語、又はフランス語によるものとし、次の各号に掲げる点に留意して作成したものでなければならない。

1 論文は、和文では、A4版400字詰横書き原稿用紙を用いたもの（ワードプロセッサ使用の場合は、A4版に30字×25行とする）、又欧文では、A4版のタイプ用紙にダブル・スペースでタイプしたものとする。

2 論文の記載順序は、①表題、②著者名（ローマ字表記をつける。）、③所属、④欄外見出し、⑤原稿の枚数、⑥表の数、⑦連絡先及び別刷

請求先住所、⑧欧文抄録、⑨キーワード（Keywords）、⑩本文、⑪文献とし、①～⑥は表紙として1枚にまとめること。なお、欧文論文の場合には、さらに和文抄録を付けること。

3 和文の表記は、原則として、「常用漢字表」（昭和56年10月1日内閣告示第1号）、「送り仮名の付け方」（昭和48年6月1日内閣告示第2号、昭和56年10月1日内閣告示第3号により一部改正）、「現代仮名遣い」（昭和61年7月1日内閣告示第1号）によるものとする。

4 医学用語は、日本医学会選定のものを用いること。

5 ラテン語の学名はイタリックで、日本語の動植物名は片仮名で書く。

6 略語は、国際的慣例に従い、単位及び単位記号は、国際単位系による（例：nm、 μm 、 μg 、 μl 、Hz等）。

7 外国人名は、原綴のままとする。国名等は、原字又は片仮名で書く。

8 文献は次の記載法による。本文中の引用は、その右肩に番号を付けるか、又は著者名と年号を記載する。後者の場合、著者が3名以上であるときは、第1著者名の後に“ら”又は“et al.”を付ける。

末尾文献表は、引用が番号の場合は引用順、著者名の場合はアルファベット順とする。著者は略さず全員を掲げる。記載順序は雑誌の場合、①著者名(発行年)、②論文表題、③雑誌名、④巻次、⑤始め—終わりページとする。雑誌名の略記は、“Index Medicus”及び『医学中央雑誌』の略名表によるものとする。また単行本の場合は、①著者名(発行年)、②書名、③版次、④引用ページ、⑤発行所、⑥発行地とする。

記載例

King, S.J., Reilly, K., Dawes, J. and Miller, H.R.P. (1985) The presence in blood of both glycosaminoglycan and mucosal mast cell protease following systemic anaphylaxis in the rat. *Int. Arch. Allergy Appl. Immunol.* 76, 286-288.

Goldstein, A., Aronow, L. and Kalman, S.M. (1968) Principles of Drug Action. 343-428. Harper & Row, New York.

Gross, D. (1974) Pain and the autonomic nervous system. In “Advances in Neurology, Vol. 4, Pain”, ed. by J.J. Bonica. 93-103.

Raven Press, New York.

Fujita, H., Nakayama, N., Sawabe, T. and Kimura, K. (1970) In vivo distribution and inactivation of neocarzinostation. *Jpn. J. Antibiot.* 23, 471-478 (in Japanese).

松井成一 (1976) 再生時の肥胖細胞の組織化学的研究, 京府医大誌85, 483-492.

梶川欽一郎 (1984) 結合組織9-17. 金原出版, 東京.

9 本文, 文献, 抄録など, 欧語はすべてタイプで記す。

10 図・表は, 個々の掲載寸法又は縮小率を明記して別に添付し, 本文中には, 図表が挿入されるべき位置を明示しておくこと。また, 図の裏面上縁には“上”と記しておくこと。

(抄録)

第3 抄録 (Abstract) は, 次の各号に掲げる点に留意して作成すること。

1 欧文抄録は, すべて英文とし, 本文が欧文の場合は, 和文抄録をも付ける。

2 和文抄録の記載順序は, ①表題, ②著者名, ③所属, ④抄録本文とする。

3 抄録の長さは, 和文では800字以内, 欧文では300語以内とする。

(掲載料の納入)

第4 投稿者は, 請求のあった日から2週間以内に, 全額を納入しなければならない。

滋賀医科大学雑誌
第8巻 平成5年11月

発行 滋賀医科大学雑誌刊行会
大津市瀬田月輪町(〒520-21)
滋賀医科大学附属図書館内
電話 0775-48-2077

編集 滋賀医科大学雑誌編集委員会
編集委員長 繁 田 幸 男
編集委員 安 藤 喬 志
大久保 岩 男
越 智 淳 一 孝
可 児 義 朗
神 館 田 司 巳
島 田 司 治
西 田 克 司
森 田 陸 司
(五十音順)

印刷 進行印刷出版株式会社
京都市左京区一乗寺東閉川原町19(〒606)
電話 075-711-5623

原 著

Ultrastructure of theca interna cells and their proliferation and differentiation in the human ovary. Yoshinobu YOSHIDA, Masaya HIROSE and Sakae GOTOH	1
大腸菌で発現させたカテコール2,3-ジオキシゲナーゼ —物理化学的・反応動力学的・分光学的研究— 小林健博	19
Cerebral lesions in stroke-prone spontaneously hypertensive rats with special reference to lacuna formation and diffuse degeneration of the white matter Chin-Hui CHUE, Eiji YAMADA, Fumitada HAZAMA	35
当科における肺癌切除例300例の検討 藤野昇三, 加藤弘文, 朝倉庄志, 森 渥視, 安田雄司, 高橋憲太郎, 山中 晃, 上野陽一郎 中島真樹, 並河尚二, 岡田慶夫	51
パーキンソン病およびパーキンソン症候群における痴呆 —剖検症例による組織病理学のおよび組織計測学的研究— 河合 潤	59
糖尿病ラット心の毛細血管透過性に関する電子顕微鏡的検討 山地 尚	69
Transplacental Transmission of HTLV-I to Fetuses in Rabbits. Ichiro YAMADE	81
EFFECT OF EXTRACELLULAR MATRIX SUBSTRATES ON PROLIFERATION, ADHESION, AND SECRETORY FUNCTION OF PANCREATIC ACINAR AR42J CELLS Yutaka SHINTANI, Tadao BAMBA, Hisayuki INOUE, and Shiro HOSODA	87
加齢による小腸の糖吸収能の変化 平田真人, 馬場忠雄, 細田四郎	101
遺伝子組換えヒト腫瘍壊死因子 (recombinant human tumor necrosis factor; TNF) α による非免疫原性腫瘍に対する免疫能増強に関する研究 大槻鉄郎, 寺田信國, 小玉正智	111
Clinicopathological Study of Early Gastric carcinoma Nobukuni TERATA, Junsuke SHIBATA, Masashi KODAMA, Tadao BAMBA, and Hidetoshi OKABE	129
甲状腺良性腫瘍手術例の臨床病理学的検討 迫 裕孝, 沖野功次, 阿部 元, 小玉正智, 中根佳宏	139
Functional Assessment of Preserved Lung and Warm Ischemic Injury in Isolated Rabbit Lung with a New Perfusion System Naoki YAMASHITA	147
生命の数理 <黄金比と複素螺旋関数> 岡 利一郎	165

抄 録

滋賀医大シンポジウム 第9回『医学における画像解析』	179
----------------------------------	-----